

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート（事後評価）

評価実施年月：平成 26 年 1 月

1. 対象事業	沼津市合流式下水道緊急改善事業				
2. 事業主体名称	沼津市				
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 23 年度				
4. 対象事業の進捗状況	平成 16 年度計画策定及び平成 23 年度計画変更に基づき以下の対策を実施した。 ① 汚濁負荷量の削減 ・高速ろ過施設の設置（ろ過面積 225m <sup>2</sup> 、処理能力 150m <sup>3</sup> /分） ② 公衆衛生上の安全確保 ・高速ろ過施設の設置（ろ過面積 225m <sup>2</sup> 、処理能力 150m <sup>3</sup> /分） ③ 夾雑物の削減 ・ポンプ場の流入水路に細めのスクリーンを設置				
5. 目標達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ① 汚濁負荷量の削減 →分流式下水道並の汚濁負荷量：BOD 放流負荷量 200 t/年→146 t/年（削減率 88.0%以上） ② 公衆衛生上の安全確保 →雨天時の未処理放流回数の半減：43 回→21 回以下 ③ 夾雑物の削減 →ポンプ場に夾雑物除去（細めスクリーン）施設を設置  【目標に対する達成状況】				
	改善目標	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 (平成 24 年度実績)
	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
	① 汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量(削減率)	1,217t/年→200t/年 (83.5%)	1,217t/年→146t/年 (88.0%)	1,682t/年→200t/年 (88.1%)
	② 公衆衛生上の安全確保	年間放流回数	43 回	21 回	13 回
	③ 夾雑物の削減	スクリーン設置箇所数	0 箇所	1 箇所	1 箇所
	【改善期間までの目標達成の見通し】 当面の目標(汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、夾雑物の削減)に関する全ての対策が完了している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況	① 汚濁負荷量の削減 →改善目標である 146t/年(88.0%)を上回る 88.1%、分流式下水道並まで削減 ② 公衆衛生上の安全確保 →改善目標を大幅に上回る放流回数を削減 21 回→13 回 ③ 夾雑物の削減 →細めのスクリーンを設置により、極力流出を抑えることが可能 (参考)雨天時平均放流水質 BOD 14.6mg/L (平成 24 年度実績)				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	下水道技術開発プロジェクト (SPIRIT21) の開発技術である高速ろ過施設を採用した。				
8. 今後の方針	沼津市では、合流式下水道緊急改善計画で位置付けた改善対策の整備が全て完了し、目標は達成された状況にあります。今後も引き続き、整備した施設の適正な維持管理を行うと共に、公共用水域の水質保全に努めていきます。また、継続的に水質調査を行い、放流先となる観音川の水環境を観察しつつ、地域住民に対し、情報提供に努めます。				